

第2回 首都高都心環状線の交通機能確保に関する検討会 議事概要

1. 日時

令和元年5月27日（月） 14：00～15：00

2. 出席者

池田 国土交通省道路局長
青木 国土交通省都市局長
石田 国土交通省住宅局長
佐藤 東京都技監（都市整備局長兼務）
吉田 中央区副区長
大島 首都高速道路（株）代表取締役専務執行役員
加藤 東京高速道路（株）常務取締役

3. 議事

- 1) 検討のプロセスについて
- 2) 地元のまちづくり計画の状況について
- 3) 大型車交通の環状機能確保に向けた更なる検討について

4. 議事概要

- 議事1)～3)について事務局から説明がなされた。
 - その後、意見交換を行い、
 - ・ 今回の検討状況を踏まえ、大型車交通の環状機能確保策の具体化に向けて、コスト面にも留意しつつ、引き続きスピード感を持って対策案の検討を進めること。
 - ・ 東京高速道路（KK線）のテナントに影響が出ないように配慮すること。
 - ・ 東京高速道路（KK線）の構造強化案においては、銀座地区のまちづくりへの影響が大きいとの認識であること。
 - ・ 別線整備案においては、地下埋設物と近接・干渉する場合の対策や、都心環状線との接続について、関連する計画との整合を図りながら、関係者間で更なる検討・調整を進めること。
 - ・ KK線の既存施設の今後のあり方については、東京都や東京高速道路株式会社などの関係者が連携して、別途、検討を進めること。
- などの意見が出され、関係機関が首都高都心環状線の交通機能確保に向けて、引き続き連携し、検討していくことが確認された。